

- マツダ、「CX-5」の灯火装置に不具合があるとしてリコール 14年11月27日～15年12月7日に生産した2万6818台
LEDヘッドランプの配線コネクタ用ガスケットの材質が不適切な為、ガスケットから発生する硫黄成分によりLED回路が腐食することがある。その為、腐食が進行して回路が断線すると、車幅灯、補助灯が点灯しなくなる恐れがある。
- 日産自動車、「スカイライン」の燃料ホースに不具合があるとしてリコール 14年5月26日～17年8月10日に製造された2リットルターボエンジン搭載車8814台
燃料ホースの材質が不適切な為、熱等により早期に劣化することがある。その為、そのまま使用を続けると、冷機始動時に高圧燃料ポンプと低圧側燃料ホースとの接続部分から燃料がにじみ出る恐れがある。
- トヨタ自動車、「ハイエース」「レジアスエース」の自動変速機に不具合があるとしてリコール 14年12月9日～19年1月19日に生産した8万8969台
エンジン制御用コンピュータ(ECU)内の変速油圧制御プログラムが不適切な為、変速の際、油圧が過度に高くなることがある。その為、急加速等を繰り返すと変速機内のクラッチが損傷して加速不良が生じ、最悪の場合、走行不能になる恐れがある。
- 三菱自動車、「デリカD:5」のエンジンコントロールユニット(ECU)に不具合があるとしてリコール 12年12月18日～19年1月7日に生産した5万8297台
燃料ポンプの制御プログラムが不適切な為、燃料残量が少ない場合に、燃料ポンプが空気を吸い込むことがある。その為、燃料がエンジンに供給される過程で空気が圧縮され高温になることで炭化物が生成され、フューエルインジェクター内部に堆積。インジェクターが作動不良となり、最悪の場合、エンストに至る恐れがある。
- 三菱自動車、「アウトランダーPHEV」「アウトランダー」「デリカD:5」のナビゲーションシステムに不具合があるとしてリコール 13年2月11日～同年10月18日に生産した3708台。この他、交換修理用部品が組付けられた可能性が42台も対象。
メーカー装着のナビゲーションシステムにおいて、液晶画面の電源用ICの製造工程での作業が不適切な為、通常使用しない薬液が残留しているものがある。その為、使用過程でIC内部が断線し、液晶画面へ電源が供給されなくなり、直前直左確認用のカメラ映像が表示されず、保安基準第44条(後写鏡等の基準)に適合しなくなる恐れがある。
- UDトラック「クオン」のエアドライヤー(エア圧力テスト用コネクタ)に不具合があるとしてリコール 17年4月28日～19年7月22日に生産した1万4444台
エアドライヤーにおいて、圧縮空気の圧力テスト用コネクタの材質が不適切な為、エアコンプレッサで作られた圧縮空気中に含まれる成分および高圧力等によって、コネクタが腐食離れして圧縮空気漏れを起こすことがある。その為、亀裂が進行すると圧縮空気の供給量が追い付かなくなる為、エア圧力低下の警告ランプ点灯および警報が鳴り、最悪の場合、駐車ブレーキが解除できなくなり走行不能に至る恐れがある。
- ホンダ、「N-BOX」「N-VAN」のバックランプに不具合があるとしてリコール 17年7月26日～19年1月14日に生産した18万5902台
ヒューズボックスに内蔵されるバックランプ制御リレーの選定が不適切な為、リレー作動時に生成された金属異物がリレー駆動部に挟まることがある。その為、リレーが導通不良となり、バックランプが不灯となる恐れがある。
- ホンダ、「N-BOX」「N-BOXカスタム」のCVTに不具合があるとしてリコール 17年7月26日～19年1月14日に生産したノンターボ車4万4974台
CVTのトルクコンバータにて、ロックアップクラッチダンパスプリングの成形が不適切な為、ロックアップ機構作動時に過大な応力がかかり折損することがある。折損したスプリングがトルクコンバータ内部に脱落し、異音が発生し、最悪の場合、トルクコンバータ内部に噛み込み、発進時等にエンストして走行できなくなる恐れがある。
- UDトラック「クオン」のエンジンマウントブラケットに不具合があるとしてリコール 17年6月12日～19年6月6日に生産した、GH11エンジン搭載車6549台
前方右側エンジンマウントにて、ブラケット固定ボルトの締付け順序が不適切な為、サスペンションブラケットとの間に隙間ができていくものがある。その為、エンジン振動等で固定ボルトが緩み、そのままの状態で使用を続けるとブラケットが破断してエンジンが振れ、最悪の場合、クーリングファンが他部と接触・破損して、冷却性能が低下しオーバーヒートに至る恐れがある。

台